

学級通信 カラフル

ピュア ソウル
～ Pure Soul ～

和光中学校
3年学級通信最終号

3年生の皆さん、3年間の中学校生活お疲れ様でした。明日はいよいよ卒業式ですが、迎えるにあたって様々な思い出や感情が渦巻いていることと思います。

今回、学級通信最終号ということで私が好きなアーティスト『GLAY』の『Pure Soul』という曲を紹介して、皆さんの今後の活躍をお祈りしたいと思います。

曲のタイトルは訳すと「純粋な魂、精神」といったところでしょうか。

この曲の中に

『^{さい}賽を^{とき}振る時は^{おとずれ}訪れ ^{じんせい}人生の^{きろ}岐路に^{たたずむ}佇む 共に見た数々の夢を 追いかけて汗を流す仲間もいたな』

というフレーズがあります。

『賽』はサイコロのことで、『賽は投げられた』というカエサルという言葉が有名です。サイコロは投げられた以上、なんらかの数字が出ます。結果はどうなるうとも、もはや決行するしかないという意味で使われます。

卒業後、それぞれ別の進路に向かっていく中学3年生というのは、まさに『賽を振り、岐路に立っている時である』といえるのではないのでしょうか？

この文章を書きながらふと思うのです。「確かに私も中学生の時に賽を振ったよな。自分の出目はいったい何だったのだろう。」「そもそも自分はどの出目だと満足したのだろうか。」「3より6は偉いんか?」「今も賽は回っているよな・・・。」

こうして考えてみると、「どんな目が出ようとも、自分にとって納得のいく目にしていけるか」が重要であり、後の歌詞にあるように、「サイコロと違って『人生という賽』は、振った後でも仲間と共に夢や目標を追いかけて汗を流す中で目を変えることができる。(イカサマではありません。)」のではないのでしょうか。

これから幾度となく『賽を振る時』が訪れることと思います。物事を始めたり決断したりする時は、どの目が出るか分からない不安があるから、勇気が必要となってきます。

だけど、心配しないでください。私の賽も現在進行形で回っているように、何回も振り直すチャンスがあります。目を変えるチャンスがあります。

今までの仲間やこれから出会う仲間と共に人生を歩んでいく中で、色んな出目に会ってください。

